

地方大学でまなぶことの意義

共愛学園前橋国際大学 国際社会学部 4年
齋藤舞奈

1. プロフィール



さいとう まいな
齋藤 舞奈 群馬県伊勢崎市出身

所属：共愛学園前橋国際大学国際社会学部 4 年
児浦ゼミ(地域コミュニティ論)/子ども食堂るり
あるく代表/前橋の地域若者会議/広報まえばし
ワカモノ記者/からっかぜパーク実行委員会

好きなこと：音楽を聞くこと/ドライブすること/いろんな人と話すこと

一言：地元が大好きな大学生です！本日はよろしくお願ひいたします。

2. 地元・共愛学園を選んだ理由

中学・高校時代の地域でのボランティア活動で、
地域と関わることの楽しさや面白さを知った。

経済的な面も考慮し
県内の**地域と関わり**の強い
国公立大学を受験したが
合格しなかった。

地域に根付いた授業が多く、
地域でのコミュニティを
広げていくことが
出来ると考えた。

群馬県内の私立大学で
地域系の取り組みをしていて
興味ある学びがあるのが
共愛学園だった。

2. 地元・共愛学園を選んだ理由

地方で大学進学を希望する
こども達の進路を
閉ざしてしまわないと
ために
地方大学はあるべきだ。

経済的な面で県外進学は
視野になかったため、
共愛学園がなければ
大学進学をあきらめていた
可能性がある。

長期インターンシップ

3. 地域の中での学び

大学 × 地域

後期の授業の約4か月間、市内の企業や前橋市役所に

インターン生として勤務する。実務だけでなく、事前指導や中間
発表・事後指導を通して、ビジネススキルやマナーなどを

身につけていく。自身は前橋市役所の生涯学習課にてお世話にな

り、「前橋市はたちのつどい」の企画運営をおこなう業務に携

わった。協賛の集め方や大イベント開催の流れなど、普段の学生
生活では経験することのできないことを経験することが出来た。



群

馬

で

学

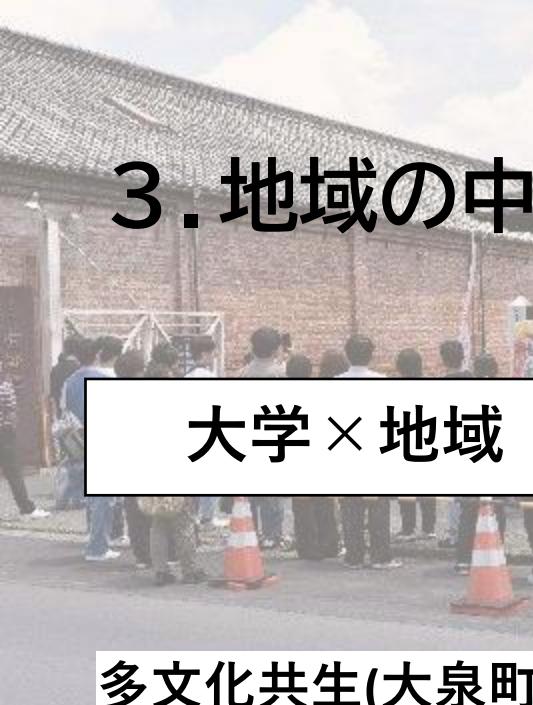
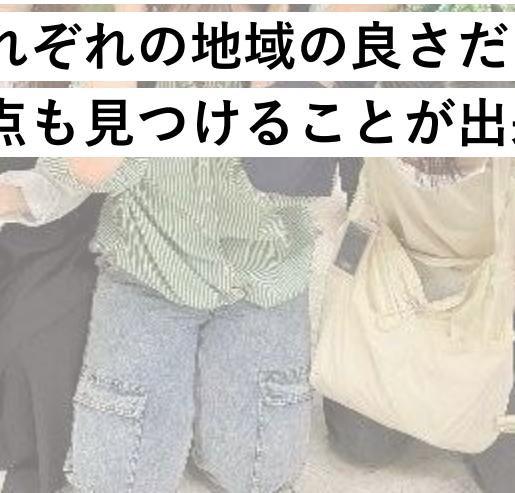
ぶ

3. 地域の中での学び

大学 × 地域

多文化共生(大泉町)/脱炭素(群馬県庁)/まちづくり(桐生市)の

3か所を現場体験を通して、地域ごとの課題を見つけ、その課題解決に向けた策を講じていく。実際に現場にてて自分の目で見ることで座学だけではわからないような、その地域の課題が見えてくる。それぞれの地域の良さだけでなく、課題点も見つけることが出来た。



前 橋 市 で 学 ぶ

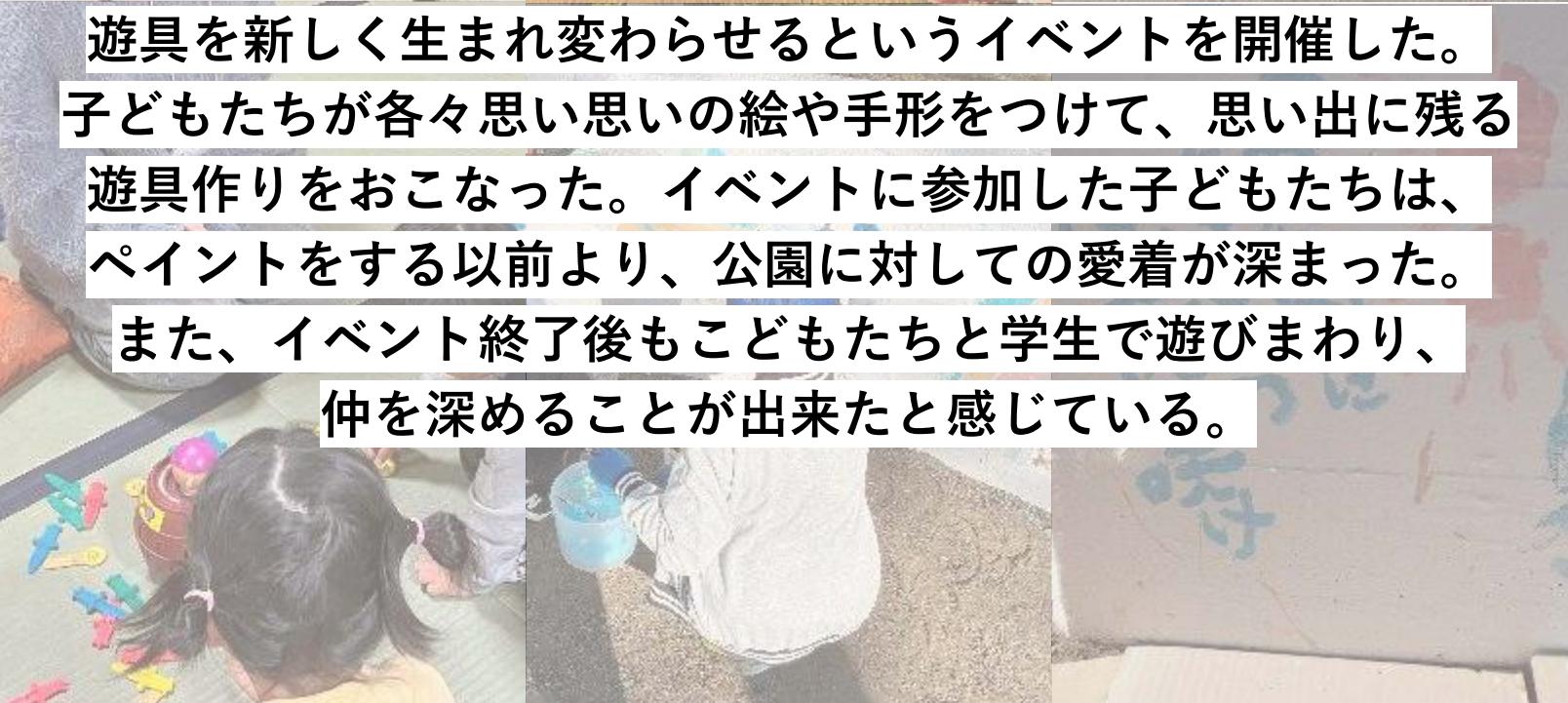
3. 地域の中での学び

大学 × 地域

公園の朽化した遊具を地域に住む親子と一緒にペイントをして遊具を新しく生まれ変わらせるというイベントを開催した。

子どもたちが各々思い思いの絵や手形をつけて、思い出に残る遊具作りをおこなった。イベントに参加した子どもたちは、ペイントをする以前より、公園に対しての愛着が深まった。

また、イベント終了後も子どもたちと学生で遊びまわり、仲を深めることができたと感じている。



過疎地域課題探究

3. 地域の中での学び

大学 × 地域

消滅可能性が全国1位とされている「群馬県南牧村」にて

現場体験を実施した。南牧村に「よそ者。若者。」が関係人口として村に関わっていくことのできる方法を模索した。現場体験を通して、南牧村の小中一貫校である「なんもく学園」の児童生徒

が日常生活の中で大学生とのかかわりが少ないことを知り、なんもく学園にてチーム対抗運動会やカレー作りなどをおこなう「なんもくこどもフェス」を開催した。最初は人見知りをしていたこどもたちも最後は学生にとても懐き、楽しい交流となった。

今後も継続して交流を行っていく予定である。

ゼミでの活動

3. 地域の中での学び

大学 × 地域

ゼミ生がそれぞれ自分のフィールドを持ち、その地域における課題を見つけ解決策を講じていく。現在、本ゼミには27人のゼミ生が在籍しており、若者のまちへの回遊性を高めるために活動をしている学生や、市内の公園に地域住民が愛着を持てるようになるための企画実践をしている学生、地域交流拠点における世代間交流をしている学生など、多種多様である。

自身は卒業研究の一環として本学のある前橋市内に「こども食堂るりあるく」を立ち上げた。

4. 地域で学ぶことで…

地域コミュニティが拡大

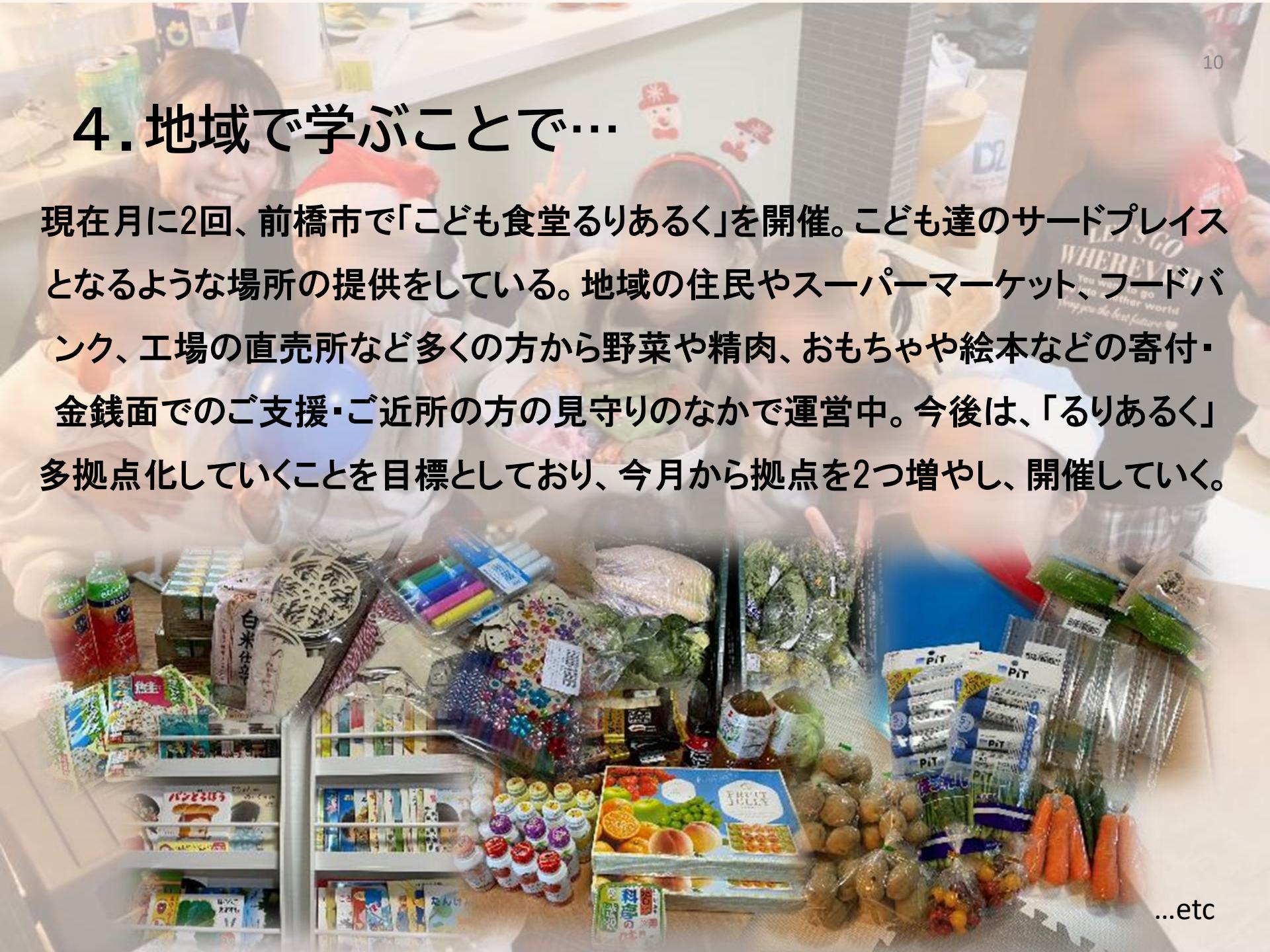
前橋市役所の職員の方/地域おこし協力隊の方/市内のNPO法人の方/市内民間企業/教育関係の方など様々な人との出会いの中で、多くの挑戦の機会をいただけるようになった。自分の「やりたい！」という想いを自信をもって発信できるようになった。



「前橋市内のかどもたちに家でも学校でもない
サードプレイス(居場所)を提供したい」
という想いの実現へつながる

4. 地域で学ぶことで…

現在月に2回、前橋市で「こども食堂るりあるく」を開催。こども達のサードプレイスとなるような場所の提供をしている。地域の住民やスーパー・マーケット、フードバンク、工場の直売所など多くの方から野菜や精肉、おもちゃや絵本などの寄付・金銭面でのご支援・ご近所の方の見守りのなかで運営中。今後は、「るりあるく」多拠点化していくことを目標としており、今月から拠点を2つ増やし、開催していく。



...etc

4. 地域で学ぶことで…

新たなキャリア形成へつながった

公務員志望であったが、地域での活動をおこなっていく中で
出会うことのできた、**地域の民間企業へ就職**することとなった。



こども食堂るりあるくは、前橋市で地域創生やSDGsに取り組む地域のIT企業の元
でインターン生として運営している。企業にこども食堂の拠点を借りていただき、
食材やおもちゃの寄付や調達は自分たちで集めている。こども食堂の運営を
インターン生としての実力を認めていただき、内定をいただいた。
地域での学びのなかで地域の企業とのつながりを作ることが出来た。

4. 地域で学ぶことで…

地域に対して愛着の向上

あたたかさ

やさしさ

つながりの
強さ

小規模だからこそそのコミュニティの良さ

活動する地域(前橋市)を
より、もっと、好きになることが出来た